

1. 科目名 (単位数)	教育方法論 (初等・小) (2 単位)		3. 科目番号	EDTE2104
2. 授業担当教員	黒田 智隆			
4. 授業形態	講義、グループ討議を用いる。		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特に限定しませんが、教育学概論を受講していることが望ましい			
7. 講義概要	学校における教育活動の中核である授業を、児童・生徒が主体的・対話的で深い学びを実現し、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶことの意味を捉え直し、問いを持つことの大切さを理解するとともに、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。</li> <li>2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。</li> <li>3. 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。</li> </ol>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>事前・事後学習を確実にを行うよう努力すること。</p> <p>・「あなたはどのような要素を特に大事にして授業を行うか」について、授業で学んだことを挙げながら、1000字程度でまとめなさい。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 岡田涼・中谷素之・伊藤崇達・塚野州一『自ら学び考える子どもを育てる教育の方法と技術』北大路書房、2016年</p> <p>【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社 生徒指導提要 (平成22年3月告示 文部科学省)</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「何をどのように教え・学ばせるのか」「何ができるようになるか」という観点から、教育方法を習得することが出来たか。</li> <li>2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は私語を慎み、携帯電話・スマートフォンの電源を切って参加してください。</li> <li>2. レポートや課題の提出期限を守ってください。</li> <li>3. 正当な理由のない遅刻、早退、欠席はしないように心掛けてください。</li> </ol> <p>近い将来に、自分が子ども達の前で教育活動を実践していくイメージをもちながら、学びの意味を再認識し、子どもの認識に応じた教育方法を考え、効果的な教育の仕方を身に付けてほしいです。</p>			
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション・児童生徒の学びを支える指導・学力の分類と指導	事前学習	教科書の序章、第1章 pp. 1～22 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 1～22 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。	
第2回	教育における目標	事前学習	教科書の第2章 pp. 23～39 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 23～39 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。学習指導案を入手しておく。	
第3回	教室文化と学習規律・学習指導案の書き方	事前学習	教科書の第3章 pp. 40～49 を通読してくる。	
		事後学習	p. 40～49 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。学習指導案の書き方を確認しておく。	
第4回	授業における教授方法	事前学習	教科書の第4章 pp. 50～64 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 50～64 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。	
第5回	授業における指導の技術・模擬授業	事前学習	教科書の第5章 pp. 65～81 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 65～81 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。	
第6回	学習意欲を促す指導・模擬授業	事前学習	教科書の第6章 pp. 82～96 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 82～96 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。	
第7回	仲間との協同による学習・模擬授業	事前学習	教科書の第7章 pp. 97～111 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 97～111 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。	
第8回	自律的な問題解決を促す指導・模擬授業	事前学習	教科書の第8章 pp. 112～123 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 112～123 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。	
第9回	ICT を用いた指導方法・模擬授業	事前学習	教科書の第9章 pp. 124～139 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 124～139 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。	
第10回	授業外の学習の指導・模擬授業	事前学習	教科書の第10章 pp. 140～156 を通読してくる。	
		事後学習	pp. 140～156 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不	

			十分な点があれば質問事項をまとめる。
第11回	教師の専門性を高める「子どものつまずき」に応じた指導・模擬授業	事前学習	教科書の第11章 pp. 157～177 を通読してくる。
		事後学習	pp. 157～177 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。
第12回	障害のある児童生徒の理解と支援・模擬授業	事前学習	教科書の第12章 pp. 178～193 を通読してくる。
		事後学習	pp. 178～193 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。
第13回	教育における評価と学習	事前学習	教科書の第13章 pp. 194～209 を通読してくる。
		事後学習	pp. 194～209 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。
第14回	テストの作成と運用・自ら学び続ける教師を目指して	事前学習	教科書の第14章、終章 pp. 210～230 を通読してくる。
		事後学習	pp. 210～230 の重要点をまとめ、前授業までで理解が不十分な点があれば質問事項をまとめる。
第15回	教育方法論のまとめと発表 ・期末レポートを元にグループワーク、発表 ・授業評価	事前学習	教育方法論を振り返り概要を整理する。
		事後学習	教育方法論で学んだことを今後どう生かすか、成果と課題をまとめる。
			期末試験